

ノーコードでの中小企業DXを実現。メンター企業の育成を通じ地域の中小企業間でDX教育をし合うエコシステムの構築。AIを用いたより高度な実装も実現

採択事業者名 株式会社セラピア

コンソーシアム構成員 えひめ東予産業創造センター | 株式会社ユタカ (AI実装) | 登尾鉄工株式会社 (DXメンター企業) | 株式会社IGSA (AI技術提供)

県内拠点設置 あり(営業拠点)

所在・役割 愛媛県松山市千舟町3-17 4階

事業概要

1. 事業の狙い

愛媛を代表するものづくり企業において、ノーコードツールを活用し、現場でDXを手動するためのノウハウを独自の教育ツールとハンズオンで現場主導型のDXを支援。現場主導DXの成功事例を創出し、自走する現場主導DXのエコシステムの足がかりを確立することを目的とする。加えてAIを用いたより高度なツールの作成及び実装化を目指す。

2. 県内のターゲット事業者

愛媛県のものづくりを牽引する中小企業で業務オペレーション上の課題をDXで解決したいと考えている起業。

3. 紐づく課題

ものづくり中小企業においてDXによる業務効率化や生産性向上のニーズはある一方、成功割合は10%程度とされている。そこにはデジタルへ知識の薄さ、経営戦略への落とし込みや組織を通じた変革の仕組みの構築、独自オペレーションが存在することによる外部ツールの活用が困難であるなどの様々な問題がある。株式会社セラピアは、過去に地域のものづくり中小企業でDX教育を経てDXの推進を牽引してきた実績を元にし、中小企業同士でDX教育を推進できるエコシステムの構築を推進する。

4. 実施内容

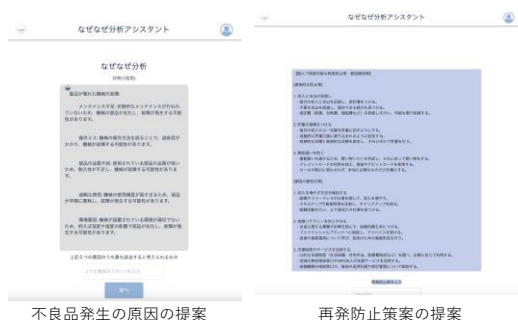
①DXエコシステムの構築
6~7月にえひめ東予産業創造センターの紹介や公募を経て、新たにプロジェクトに参画希望する6企業の確定と各企業における目標設定を行った。同時にセラピア社よりメンター企業(登尾鉄工)に対する講師トレーニングを実施した。8~10月にかけて参画6法人に対して、参画企業に対してDX教育をセラピア社と登尾鉄工にて実施。各社複数の業務上のアプリを制作した。12月には参画企業の成果発表会を実施。3月に本取組に関する勉強会を実施し、次年度に向けた更なる関心層の開拓を実施する。

②AIを用いたより高度な実装
昨年のメンター企業である株式会社ユタカがIGSAと連携し、7月よりAI機能を搭載した不具合分析アプリを作成(下図)。現在業務オペレーションに組み込むための評価を実施中。



解決策(サービス/プロダクト)

②AIを用いたより高度な実装
業務上得た情報を活用し、エラーの原因分析および対応策提案のアイデアを出せるAI実装アプリを開発。



デジタル活用の要素

取得データ

②エラーの分析とその正確性を担保するためのデータや誰がどのような課題を解決したいのかに関わるインプットデータ

データ活用による考察・示唆

②エラーの起きた原因を分析してくれるツールを開発。実装に向けてデータの正確性などの担保が課題だが、ノーコードツールを用いて、AIを用いたより高度な業務で利用できるシステムを作成できることが示唆された。

成果と今後

成果(含む想定)

	実装前		実装後（～今年度末）		今後3年の見込み （～2028年3月末時点）	
経済効果	<昨年度のユタカ様の事例> ・アプリ外注費用の削減： 2,500万円 （5台作成） ・アプリによる業務の無駄削減： 4,900万円		➤ 経済効果： 1.50億円		➤ 経済効果： 15億円	
			本年度は5社で実装。1社あたりの削減効果は 1,720万円 。内訳は以下の通り。 ・アプリの外注費用：1,000万円 ・業務削減費用：720万円 ※5社×1,720万+7,300万円(ゆたか様)		<100社が現場DXに取り組むと仮定> ・アプリ外注費用の削減： 10億円 （500万円/アプリ、2つ作ると仮定） ・アプリによる業務の無駄削減： 5億円 （削減効果は1社あたり500万円/年と仮定）	
SDG進捗	【KPI ①】 デジタル人材輩出人数 アクティブ+ポテンシャル	220名	今年度:161名 昨年度:150名	311名	実装企業数100社、メンター企業10社の輩出を目指す。	
	【KPI ②】 効率化により削減されたコスト	1,000千円/社	2,500円/時、従業員30名、5%削減で計算	7,200千円/年		
	【KPI ③】 具体的な実装検討企業数 （商談数）	10社以上	DM募集で4社 勉強会で2社	6社		
デジタル人材輩出	【アクティブ】 アプリを開発し業務活用	【アクティブ】 アプリを開発し業務活用 【ポテンシャル】 アプリを利用するスタッフ 【関心層】 ・勉強会の参加人数 ・アプリフィードバックもらった人	【アクティブ】 7社×3名	21名	【アクティブ】 100社×3名	300名
	【ポテンシャル】 7社×20名		140名	【ポテンシャル】 100社×20名	2,000名	
	【関心層】 7社×50名		350名	【関心層】 100社×50名	5,000名	
定性的/非連続な価値 （具体的な行動変容/組織変容など）		具体例 ・ 東予地区の実装先でDXが推進。若手がリードして自発的に自社の業務改善につながるアプリが作られている。地域のDX推進においてリーダー的企業に転換。 ・ 構想はあったが実装できなかった共同受注システムの実装が始動。精密加工企業5社＋東予産業創造センターによる検討委員会が構築。				

新規実装・協業に至った事例 ※県内

新規実装	ソーテックを含む精密加工に強い5社	共同受注システムを開発し、精密加工に強い企業でクラスターを形成。
新規実装	ユタカ	AI企業と連携し不良品発生時の原因分析工数を削減するAI実装プロダクトを実装。
協業	SICS(株式会社西条産業情報支援センター)	1名メンター育成済。西条市内の中小企業へDX教育を提供できる体制を構築。

その他の“for 愛媛”要素

- すでに1名採用済
- 次年度の展開に向けて県内で採用活動を行う。西条市で1名の獲得を目指す(業務委託or正社員)。
- 共同受注システムについて県外から1社の受注見込。